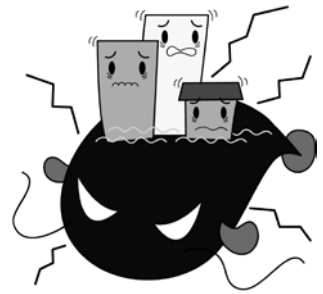
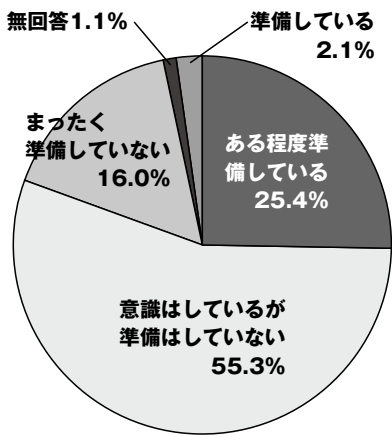


# いつ起こるか わからない 地震



地震が発生したら、何よりもまず、自分の命の安全を確保する！  
自分が行動するさまざまな場所・場面での地震を想定し、適切な行動がとれるようにしておきましょう！



今年6月に実施した南丹市市民意識調査で、「避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をされていますか」という質問をしたところ、「している」と回答された方はわずか2・1%、「ある程度している」と答えた方を加えても27・5%で、市民の4分の1の方しか備えをされていないという結果でした。

## 災害への備えは？

注意！地震活動期  
大学などの研究によると、地震には活動期と静穏期の周期性があると考えられており、平成7年に阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震以降、日本列島は地震の活動期に入ったといわれています。

## もしも…を予測する

地震は突然襲ってきます。災害から命を守るため、適切な行動がとれるようにしておくことが大切です。ポイントは次のとおりです。

### ●まず身の安全を確保

揺れを感じたらすぐに家具から離れ、丈夫なテーブルや机の下に隠れるなど、落下物などから身を守りましょう。



### ●慌てて屋外に飛び出さない

大きな揺れに驚いて、とっさに屋外に飛び出してしまうのは大変危険です。

### ●すばやく火の始末

揺れの大きさを判断し、落ちて着いて火の始末をしましょう。

### ●扉や窓を開けて脱出口を確保

地震によって建物がゆがみ、出入り口が開かなくなる場合があります。いち早く扉や窓を開け、建物に閉じ込められないようにしましょう。



### ●隣り近所と声を掛けあって

普段から隣り近所との協力体制を作っておきましょう。

## ●室内のガラスの破片に注意

裸足で歩き回らずスリッパなどをはいて行動するようにしましょう。



## ●正しい情報を聞こう

防災無線放送やラジオなどから正しい情報を聞き、誤った情報でパニックに陥ることのないように注意しましょう。

## ●避難は速やかに

土砂崩れの恐れがある場合や避難勧告が出された場合などは迷わず避難しましょう。



昼間の地震だと、家族がばらばらでお互いに連絡が取れない場合もあるので、前もって家族の役割分担や避難場所、連絡方法を決めておきましょう。

## ●避難場所などを確認

南丹市では、地震や洪水、土砂災害などについてまとめた「南丹市総合防災ハザードマップ」を作成しています。

自分が住んでいる場所や地域にどのような危険があるのかを認識し、日頃から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。